

南千住七丁目

「千住」の「南」に位置する南千住。千住大橋の南側に広がる、昔ながらの下町風情が残る七丁目は、江戸時代は千住宿として栄え、明治～大正期は火力発電所や工場のある「物づくりのまち」として発展してきたエリア。今回の散歩は、芭蕉の像からいごスタート♪

荒川区

南千住といえば松尾芭蕉が「奥の細道」の旅に出立たとされる地。西口ロータリーには銅像も！2015年、「奥の細道サミット」開催を記念して設置された

今月の正しいウォーク
6530歩
路地が多く、下町風情が色濃く残る町並み

Map



1 もん鉄

〒荒川区南千住7-17-3
電話03-3805-2180
時17:00～23:00
休火・水

2 羽根や

〒荒川区南千住7-3-14
電話03-3806-5657
時17:30～23:00
休日

3 カフェ シュクラン

〒荒川区南千住7-5-16 2F
電話03-5604-5149
時11:30～21:00(ランチ11:30～、カフェ14:00～、バー17:00～)
休火

4 満留賀

〒荒川区南千住7-11-5
電話03-3801-4537
時11:00～15:00
16:30～21:00
(土日は通し営業)
休水

5 メゾン スヴニール

〒荒川区南千住7-1-1
アクレスティ南千住109
電話03-3801-6226
時9:30～20:30
休不定休

EVENT プロの奏者と下町のコラボレーション
南千住ぶらり下町音楽祭

お寺や銭湯、蕎麦屋の2階をコンサートホールにした、ちょっと変わった音楽祭が今年も開催されます。春は墨田区、秋は南千住で行われるイベントで、プロの演奏家が下町風情あふれる建物で演奏します。大黒湯ではチェロとチェンバロ、西光寺では声楽、満留賀では尺八とギター、第二中学校ではピアノソロ、駅前広場ではパーカッションと5会場の演奏がパスポート2,000円で楽しめます。生演奏のはじごをお楽しみください♪

第5回南千住ぶらり下町音楽祭
日10/12(月・祝)
時12:50～17:30(各回30分、休憩20分)
担当・海老江：ebiex10@gmail.com

歴史 鎌倉時代から鎮座する日枝神社と歯痛の神様!? 山王清兵衛の祠

鎌倉時代正和2年(1313年)創建という歴史ある日枝神社は、山王社とよばれた旧中村町(千住宿)の鎮守でした。神社の入口にあたる、旧砂尾堤土手北端にある小さな祠は、虫歯の痛みに耐えかねてこの地で切腹した藩士・清兵衛を祀ったもので、千住の歯神として有名。歯痛に悩む者が祈願して効果があれば「錨をくわえた女性の絵馬」を奉納する慣わしがあったそうです。

日枝神社
〒荒川区南千住7-23-18

山王清兵衛の祠
〒荒川区南千住7-23

マイクンヒーロー NPO法人 千住すみだ川
代表 海老江 重光さん

アートプロジェクトで地域を活性化していきたい

この活動をはじめたのは、地元がシャッター商店街になっていくのは嫌だったから。一見何もないような千住エリアも、掘り起こすと歴史やドラマがあって、最初は「町の記憶を紙に残そう」と1万枚のフロッピーディスクを始めた。それから、墨田区で開かれていた「下町音楽祭」を南千住でも取り入れ、「南千住検定」もスタートさせました。検定は南千住第二中学校の校長先生が地域学習の本をつくらうと考えていたことが発端で、どうせなら一般の人にも参加してもらおうにしようと考えたのがきっかけです。テキストは地域のガイドブックとして

も見て楽しい本になっています。98点以上とるとマイスターに認定され、認定者には、地元の職人さんが作った七宝焼のバッジを用意。補助金頼みでない地域創生を考え、地域の職人と商品を作って売ることも始めています。また、妖怪で町おこしをするプロジェクトも進めていて、千住七不思議にちなんだ妖怪御輿を「片目の大鯉」「亀の間の大蛇」と作ってきて、今年の秋に作る大蛇の御輿で3部作が完成します。地域資源を掘り起こし、つなげていくアートプロジェクトを今後もどんどんやっていきたいと思っています。

←「第4回南千住検定」は今年の12/12(土)に開催される

←7宝焼で妖怪の帯留めやピンバッジもつくり販売している

←「第4回南千住検定」は今年12/12(土)に開催される

11/24(土)に開催される第二中学校の霜月祭で妖怪御輿を見ることが出来る

NPO法人 千住すみだ川
http://www.senju-sumidagawa.org/top.html
電話03-3801-3428
メールinfo@senju-sumidagawa.org

1 もん鉄

常に新しい驚きと発見が! 若き店主が営む創作系もんじゃ

以前あった店舗を譲りうけ、3年前にリニューアルオープンした、もんじゃと鉄板焼きの店。大人も子どもも楽しめる地域の憩いの場。「トムヤムクンもんじゃ」や「海老アボカド天」など独創的なメニューも多い。

ありそうでなかった組み合わせが面白い、海老アボカド天840円

一町会活動にも熱心な、店主の毛塚大輔さん

2 羽根や

これぞ下町な憩いの酒場
安くてうまくて楽しいお店

創業30年の下町風情あふれる串焼きと一品料理のお店。こだわりの国産地鶏を使った焼きとりを、先代から注ぎ足しの秘伝のタレでどうぞ。国産和牛もつを使用し、木・金限定の「牛もつ煮込み」も人気。奥には座敷もあり。

大将おまかせの串焼き10本(巻物1本入り)1,500円と牛もつ煮込み550円

生まれも育ちも南千住、店主の羽田貴之さん

3 カフェ シュクラン

紅茶と自家製スイーツが自慢の隠れ家みたいな小さなカフェ

イタリアンベースのお料理とこだわりの紅茶が楽しめる路地裏カフェ。世界各地から季節ごとに取り寄せる紅茶は、ポットとアイスが選べる。妊婦さんや授乳中のママにも安心のノンカフェインティーもあり。オリジナルカレーや自家製スイーツも好評だ。

♪ サンドイッチ(ニソワース)750円と本日の水出しアイスティー650円
→紅茶講座も開催する、オーナーの堀田由美子さん

4 満留賀

昔ながらの人情味あふれる手づくり蕎麦の地元の名店

この地で58年、かけもり450円と良心的なお値段で愛され続ける店。同割りの蕎麦は喉ごしがよく、「量がなくてつゆは辛い。出前もやよろ。下町だからね」とご主人。ミニすき焼きやミニ深川井がついたセットや定食もあり、下町名物の満腹感に浸れる。

♪ あらかわ満点メニューの鴨せいろ御膳850円
→この道約70年、84歳で現役の山口治雄さんと奥様のとよ子さん

5 メゾン スヴニール

思い出に残るケーキをと素材にこだわった洋菓子店

「自分が食べておいしいもの、子どもたちが安心して食べられるものを」と、奥久慈の地卵や、北海道の生クリームなど、素材にはできる限り国産のものを使用。生菓子や焼き菓子のほか、マカロンやゼリーなど品揃えは幅広い。おもたせや記念日のケーキにどうぞ。

♪ ロングセラーの和三盆ロール1,296円と看板商品の千寿バウム1,252円
→本場フランスで修行したご主人、折原浩洋さん